

【事例 H27-04-04-03】茨城県高萩市

避難者健康相談・交流会、心のケア訪問事業 ～東日本大震災で避難を余儀なくされた方を中心に～

自殺予防の観点から、避難者等の健康状態や生活状況を把握し、精神的にハイリスクな方々を家庭訪問等で継続的に支援しながら、心身の健康づくりを図ることを目標に事業を行った。東京電力福島第一原発事故での避難者は、家族や住み慣れた地域とも離れているため、同郷の方々と交流することで孤立感を少しでも解消できるよう、健康相談会・交流会を実施した。

【実施主体】茨城県高萩市

【大綱の分類】4. 心の健康づくりを進める（4）大規模災害における被災者の心のケア、生活再建等の推進

【事業予算】平成28年度 134,790円

【利点】

- ・定期的な家庭訪問により、避難者の健康状態を把握することができる。
- ・健康相談会・交流会（つどいの会）を開催するにあたり、避難している方がお互いに交流を深め、同郷の方とお話をする良い機会となる。

【実施に至るまで】

【背景・必要性・理由の概要・等】

高萩市では、家屋の倒壊等により避難を余儀なくされた市民や、原発事故により福島県から避難されてきた人たちがおり、応急仮設住宅の入居者から、不眠、体調不良、孤独感、不安感の訴えが多くあった。また、原発事故による福島県からの避難者は特に孤独感、不安感が強く、同じ原発避難地域から避難している人との交流を強く望んでいた。自殺死亡率は、東日本大震災の翌年である平成24年には、38.43と過去5年において最も高い数値となった。

【計画を立てる上での工夫・等】

1. ・家庭訪問は、平成23年度から開始。当初は新たに市内に避難してきた人について、把握でき次第早めの訪問を実施した。
 - ・現在は、新たに市内に避難してきた人については、担当課より定期的に追加の情報が報告され、家庭訪問事業に活用できた。
 - ・訪問担当職員でケースカンファレンスを開催し、ハイリスク者の見極めや訪問頻度等の検討を行い、医療機関や関係機関等へ紹介するなどの支援につなげている。
2. ・健康相談会・交流会（つどいの会）は、平成23年度から開始。当初は、家庭訪問で原発避難者と顔見知りになった職員が、直接声をかけて誘い出しを図った。現在は、対象者に通知しつつ、案内を郵送している。

・実施にあたっては、参加者同士が話しやすい雰囲気を作れるよう、会場を和室にする等全員が話せるよう進行している。また、新規の参加者にとって、市の情報を得る良い機会になっている。

【具体的な内容・実施の過程】

1. 家庭訪問

対象者…福島県からの避難者

平成 23 年度にはスクリーニング質問票 (SQD) を用いて面接 (訪問) 調査を行い精神的な問題のあるハイリスク者を見分け、特に PTSD やうつ傾向のある人や健康面で相談がある人については継続的な支援を行った。

訪問者… (平成 23~26 年度) 精神保健福祉士、看護師、保健師

(平成 27 年度~) 看護師、保健師

○スクリーニング質問票 (SQD) を用いて面接を行った人

平成 23 年度は、61 人中 11 人

平成 28 年度は、61 人中 23 人に行った。

2. 原発避難者の健康相談・交流会 (つどいの会) 年 1 回

対象者…原発事故での福島県からの避難者

○参加者平均 ※平成 23 年度から平成 28 年度計 5 回の平均

7.4 人 (5.4 世帯)

内容…フリートーキングでの交流、個別相談、市のサービス情報提供

スタッフ… (平成 23~26 年度) 精神保健福祉士、看護師、保健師、事務職

(平成 27 年度~) 看護師、保健師

【成 果】

原発避難者の健康相談会・交流会 (つどいの会) については、平成 23 年度から毎年開催し、参加者同士のつながりができ、26 年度には福島県からの避難者の会が自主的に結成された。

【補 足】情報なし

【課 題】

1. 家庭訪問をした避難者は、年月の経過とともに心の不調を訴える人は少なくなっている。平成 28 年度に、初回時と比較するために、再度スクリーニング質問票 (SQD) を用いて面接 (訪問) 調査を実施した。今までハ自殺イリスク者の抽出や終了時期を担当者の話し合いで決定していたが、スクリーニング結果をもとに再考予定。

2. 健康相談会・交流会 (つどいの会) においては、参加者が減少傾向にある。

【事業種別】 対面型相談支援・強化モデル事業

【準備期間・人数】 不明

【予防段階】 一次予防

【自治体規模】 一次予防人口 : 29 千人 財政力指数 0.601

【自治体負担率】 負担 0 (10/10 補助事業であるため)

【事業対象】 原発事故避難者 99 人 (49 世帯)

【支援対象】 原発事故避難者 61 人 (27 世帯)

【実施主体・問合せ先】 茨城県高萩市健康福祉部健康づくり課

TEL 0293-24-2121

E-mail: kenkou@city.takahagi.lg.jp

【参考資料・文献】 自殺死亡率は、地域における自殺の基礎資料（内閣府）より